

『ミリオンダラー・ベイビー』でアカデミー賞®主演女優賞に輝いた、
ヒラリー・スワンク待望の最新作。

STORY ケイト(ヒラリー・スワンク)が初めて身体に異変を感じたのは、誕生パーティーでピアノを弾いた時だった。やがて難病ALSと診断され、1年半後には車椅子生活となり、人生のすべてが変わってしまう。友人たちの前で明るく振舞うことに疲れ、心の中で「こんな筈じゃなかった…」と嘆くケイトは、弁護士の夫エヴァン(ジョシュ・デュアメル)の反対を押し切り、患者ではなく友人として話を聞いてくれそうな、大学生ベック(エミー・ロッサム)を介助人として雇う。境遇や考え方が全く異なる二人だったが、夫の浮気を知ったケイトの“家出”をベックが手伝い、彼女たちは本音で語り合える仲になる。残された時間の中で、彼女たちが見つけた、生きる上で本当に大切な事とは――。

主演
ヒラリー・スワンク
来日決定!!

※舞台挨拶等
詳細は公式フェイスブックに
告知致します。

難病に立向かう女性と、ミュージシャンを夢見る学生が過ごした、人生で最高の時間。
友人に残した沢山のメッセージに胸が熱くなる。



あなたのそばにいる、
本当に大切な人と、
一緒に見てほしい映画です。
河瀬直美 (映画監督)

原作本『サヨナラの代わりに』
発売中!



今回、主演だけでなくプロデューサーをも務めたヒラリー・スワンクですが、この原作本を読み、すぐさま映画化に踏み切ったそう。映画の感動を、是非原作本でも!

『サヨナラの代わりに』ミシェル・ウィルジェン 著
堀川志野舞 & 服部理佳 訳
四六判並製 432頁/定価:本体1,600円(税別)

MANA®

“夢に向かい羽ばたく蝶”が描かれた
ブルーのパンプス限定発売!



余命わずかなケイトが、友人にブルーのパンプスを贈る印象的なシーンにちなみ、婦人靴MANAより、映画をイメージしたパンプスの販売が決定しました。

11月7日(土)
予約受付開始

価格:30,240円(税込)
詳細はMANAのHPにて(<http://www.mana-l.com/>)



本作のイメージソングが完成
澤田かおり「君がくれたもの」



11月4日(水)
リリース

ピアノポップ・シンガーソングライターの澤田かおりさんが、大切な人との出逢いと別れを糧に、明日へ踏み出そうとする女性の姿をイメージして作詞・作曲。見事に本作の主人公たちの想いと重なる楽曲となりました。

アルバム『Songwriter』に収録。定価:2,778円(税別)

アカデミー賞®2度受賞
『ミリオンダラー・ベイビー』

ヒラリー・スワンク

『オペラ座の怪人』ヒロイン

エミー・ロッサム

サヨナラの
代わりに



11.7(土) ロードショー

2015年11月7日(土) 全国ロードショー!

全国共通特別鑑賞券・レシマゲカード
1,400円(税込) 絶賛販売中!

劇場でお買い求めの方に先着で、“想いを伝えよう筆箋
(五線譜デザイン)”をプレゼント!! ※数量限定/一部劇場除く

2014/アメリカ/英語/102分/ビスタ/カラー/5.1ch/日本語字幕/字幕翻訳:稲田崑裕里/配給:キノフィルムズ & kino films

sayonarano-kawarari.com

PG12

泣いて、笑って、喧嘩して…ひとりじゃないから人生は素晴らしい!

各界から感動と絶賛の声!



あなたを
見つめてくれる人を
大切にしたい。



ヒラリー・スワンクと
エミー・ロッサム
お互い信頼の演技は
思いのままに生きられない
2人の女性の叫びとなって

人を信じることを伝えてくれる
泣いた 泣いた 泣いた…
夏木マリ

難病である筋萎縮性側索硬化症(ALS)にかかった
女主人公を演じたヒラリー・スワンクに大拍手・喝采を!!
後半のドラマチックな展開に涙が素直に落ちました。

後味の爽やかな秀作です。
おすぎ (映画評論家)

私にとって本当に大切なものは、家族、夫婦、友人。
ふと立ち止まって、

人生に気づきくれた、
この映画に感謝したい。
久保純子 (フリーアナウンサー)

自分らしく
生を全うする素晴らしさ過酷さ。
一人では生きられない辛さ悲しみとの戦い。
他人を手助けすることによって得る生きる事の大切さ。
人は愛がなければ生きる事が出来ない
あらためて思う作品です。

土屋アンナ (モデル・アーティスト)

人生の終わりを感じたとき、
自分はどう生きたいと願い
それをどう行動できるのか。
この映画の運びとは、まっすぐで正直で嘘がない。
私もそうありたい、と、強く思いました。

板谷由夏 (女優)

オンナたるもの
人生あきらめ入ったらアカン、
って勇気づけられることしきり。
ムッチーノ作品らしいあったかさと、
諸行無常の人生観を味わえるわ〜。
よしひろまさみち (映画ライター)



こんなにパワーをもらえるとは
思っていませんでした!

現在は治療が難しいと言われてる、ALSという病気を通じて、
家族とは?友情とは?を真剣に考えさせられました。
与えられている毎日に感謝しながら一生懸命生きよう!
そして1日も早くALSの治療法が
見つかる事を心から願います。

SHELLY (タレント)

自分のゴールが決められてしまった時にどう生きるか?
最後に近くにいる欲しいのは誰か?

本当の自分を
見せられる人が何人いるか?
鈴木おさむ (放送作家)

人生の困難を受け入れながら
必死に生きるケイトの姿に感嘆しました。
もし悲しみの雨が降ったとしても、
その後は必ず喜びの草木が芽吹く筈だと
信じる気持ちが大事だと教えてくれる物語です。

コブキツカサ (映画パーソナリティー)

※敬称略・順不同

涙がこぼれ落ちて、止まらなかった。
それは決して悲しい涙ではなく、
この人と出逢ったから今の自分がいるという

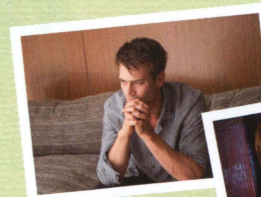
2人の女性の絆がもたらす感動の涙。
死に向かいつつも自分らしく生きたケイトから
多くのものを学んだ。
新谷里映 (映画ライター)

素晴らしい映画。アイスバケツチャレンジでお馴染みになった
難病ALSと必死に生きる女性の話。
この残酷な病と無関係な方でも
この映画を通して、命、その権利、愛などの

色々な人生のテーマを深く考えさせられると思う。
命のもろさ、自分の命の選択枝の権利はどこまでのものなのか、
自分の真の姿をちゃんと見えている人を愛せているのか、
など様々な事を。

藤田正裕 (ヒロ)

((株)マッキンゼーエリクソン プランニング・ディレクター
一般社団法人END ALS 創設者)



夢は、
諦めずに
描き続けるもの!